

武蔵野教育學論集第9号： 目次,執筆要項,編集後記,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-10-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1366

武蔵野 教育学論集

第 9 号

目 次

思春期における第二反抗期経験と対人依存及び 家族関係との関連の検討	今 福 理 博・齊 藤 汐 奈	1
小学校低学年における入門期の係活動の実践と分析	上 岡 学・松 井 香 奈	9
感動を与える導入教材の開発と評価 ～小学校理科第6学年「大地のつくりと変化」より～	下 村 知 愛・高 橋 典 嗣	19
RME理論に焦点をあてた研究の動向と展望	小 野 健 太 郎	41
キャリア教育の視点に立った生徒指導	堀 米 孝 尚・神 成 真 一	51
◆◆◆ ◆◆◆		
『書譜』の注釈3 一書の本質と価値について（後半）と節筆・節筆様の存在一	廣 瀬 裕 之	78

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 9

CONTENTS

Verification of the Relations between Experiences
in the Second Rebellious Period, Interpersonal Dependency
and Family Relationship in Adolescence IMAFUKU Masahiro / SAITO Shiona 1

Implimentation and Analysis of
"Kakari-Katsudo (Staff Activities of the Classroom)"
in the Lower Grade Children in Elementary School UEOKA Manabu / MATSUI Kana 9

Development and Evaluation of Inspiring Introductory Teaching Materials
An Analysis from the 6th Grade of Elementary School Science Class,
"Land Construction and Change" SHIMOMURA Chie / TAKAHASHI Noritsugu 19

Trends and Future Perspectives in Studies on RME Theory ONO Kentaro 41

Student Guidance and Counselling from Career Education Perspective
..... HORIGOME Takahisa / KANNARI Shinichi 51



Annotation to *Shofu* 3:
The Latter Half on the Essence and Value of Calligraphy,
and Existence of *Seppitsu* and *Seppitsu-yo* HIROSE Hiroyuki 78

武蔵野教育學論集執筆要項

2013年10月10日制定

2016年7月14日改正

2019年7月11日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文または制作ノートに投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教育学研究所研究員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または、(2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教育学研究所から依頼した者
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野教育學論集投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

A 学術論文

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は1人1編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 同号の制作ノートを投稿した者は、原則として、学術論文を投稿することはできない。
- (5) 字数等

①字数

16,000字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1ページ43字×38行とする。

*縦書きの書式は、1ページ30字×25行の2段組とする。

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執

筆者に負担を求めることが出来る。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

*横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（I、II、III等）を使用する。

*縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

*横書きの場合、注番号は1, 2, 3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

*縦書きの場合、注番号は1, 2, 3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(6) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

B 制作ノート

(1) 研究作品写真を用いた制作ノートを投稿することができる。

(2) 研究作品は、原則として、その年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(3) 同号の学術論文を投稿した者は、原則として、制作ノートを投稿することはできない。

(4) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(5) 頁数等

①頁数

2頁（解説本文、研究作品写真、その他を含む）以内を原則とする。

②その他

A 学術論文 (5)②から⑤に準ずる。

(6) 校正

A 学術論文 (6) に準ずる。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める。

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

*編集後記

今年度は、本来ならばTOKYO 2020（オリンピック・パラリンピック）大会開催予定年。例年前期授業は8月上旬までであるが、この開会式が開催される7月中旬までに前期授業を終わらせるため、1コマ90分から初めて100分授業誕生となった年である。

ところが、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大によってTOKYO 2020大会延期が決まり、わが国においても緊急事態宣言が発令され、ステイホーム・3密を避けるなど、私たちの日常生活においても多大な影響を及ぼす。本学においては、入学式の中止にはじまり、従来の対面授業に代わるオンライン授業が開始され、教員も学生もキャンパス内への立入禁止措置が取られ、在宅にてZoom等で授業発信や会議を開くこととなり、その準備や実施に多くの時間と労力を注いだ前期であった。

ここに第9号が完成。ご執筆いただいた先生方、印刷製本に力を貸していただいた創文の滝川さんに深く感謝申し上げます。

（編集委員 廣瀬・高牧）

武蔵野教育学論集 第9号

2020年 10月 10日 発行

編 集 武蔵野教育学論集編集委員会

発 行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20

電話 042-468-3290

印 刷 株式会社 創文

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 13-1

電話 03-5643-3321
